

(別添 4)

【北谷町】

1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1. 1 人 1 台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

1 人 1 台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するとともに、並行してクラウド活用推進、ICT 機器の整備調達体制の構築、利活用優良事例の普及、利活用の PDCA サイクル徹底等を進めることにより、「個別最適な学び」と「共同的な学び」が一体的に充実し、児童生徒が主体的・対話的に学び、児童生徒の資質・能力の育成につなげていくことを目指す。

2. GIGA 第 1 期の総括

第 1 期の取組としては、各学校に対し端末の配布が行われ、これにより児童生徒一人ひとりが自分の端末を持つことにより、授業や学習活動において ICT を活用する機会が大幅に増加した。また、学校内のネットワーク環境の整備も進められオンライン授業やデジタル教材の利用が円滑に行えるようになった。さらに、GIGA スクール構想では、教員向けの研修も重要な要素として位置づけられ、学校内外の ICT 活用に関する研修を受け、教員のスキル向上が図られた。これにより、教員は新しい教育手法を取り入れた授業を展開できるようになり、児童生徒の学びの質も向上した。

しかしながら、第 1 期の取組では課題もあった。特に、端末の使い方や ICT 活用に関する知識が不十分な教員も存在し、その結果として一部の学校では ICT を十分に活用できていない状況も見受けられた。今後の対策として、ICT 支援員の活用や、さらなる研修の強化、また、校務 DX の推進を通し、質の高い授業のスキルアップの向上を図るよう検討を進めていく。

3. 1 人 1 台端末の利活用方策

端末利活用の前提として、端末の整備・更新により、児童生徒向け 1 人 1 台端末環境を引き続き維持する。

ICT 支援員の効果的な活用、また、学校内外の ICT 研修を強化し受講者数を増やすことにより教員が質の高い授業を展開できるように図り、1 人 1 台端末の利活用を促進していく。

また、1 人 1 台端末を活用し、児童生徒が自分で調べ、自分の考えをまとめ、発表・表現する授業を、また、教員と児童生徒、児童生徒同士など、多様な他者と互いに学び合いのある共同的な授業を推進していく。

1 人 1 台端末を活用した学びの保障については、希望する児童生徒への端末を活用した教育相談や不登校児への支援、外国人児童生徒に対する学習支援、障害のある児童生徒や紡機療養児童、特別な支援を要する児童生徒への支援を取り組むよう図っていく。